

記 者 発 表 資 料

## 令和2年度 利根川上流河川事務所 主要事業

利根川上流河川事務所では、日本全体に影響を与える甚大な災害となりにかねない利根川の洪水氾濫を未然に防ぐため、令和元年東日本台風においても遺憾なく効果を発揮した堤防や調節池等の更なる整備及び減災のための取組を推進していきます。

令和2年度の主要事業概要は、以下のとおりです。

1. 首都圏氾濫区域堤防強化対策(茨城県・埼玉県) <別紙-1>
2. 利根川左岸築堤(茨城県・群馬県・埼玉県) <別紙-2>
3. 稲戸井調節池整備(茨城県) <別紙-3>
4. 防災・減災、国土強靱化のための緊急対策  
(茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県) <別紙-4>
5. 災害復旧事業等 <別紙-5>
6. 河川管理施設の維持管理 <別紙-6>

<参考>令和元年東日本台風の概要 <別紙-7>

※ 令和元年東日本台風における出水速報はこちら → [https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000770371.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000770371.pdf)

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、  
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、千葉県政記者会

### 問 い 合 わ せ 先

国土交通省 関東地方整備局 利根川上流河川事務所  
おぶち やすまさ  
副 所 長:小渕 康正  
かけはし じろう  
計 画 課 長:梯 滋郎  
電 話 番 号:0480-52-3921



**1. 事業の概要**

利根川上流部の右岸堤防において洪水時に決壊が発生した場合、その氾濫流は埼玉県内に留まらず東京都内まで達します。この氾濫流がもたらす広範囲の壊滅的な被害や、首都機能の麻痺による影響は全国に及ぶ恐れがあります。

昭和22年(1947年)のカスリーン台風では、この区間で堤防が決壊し、広大な範囲に甚大な被害をもたらしました。

このような災害を二度と繰り返さないよう、堤防の断面を拡幅し、洪水時の水の浸透に対する安全性を向上させる「首都圏氾濫区域堤防強化対策」を推進しています。

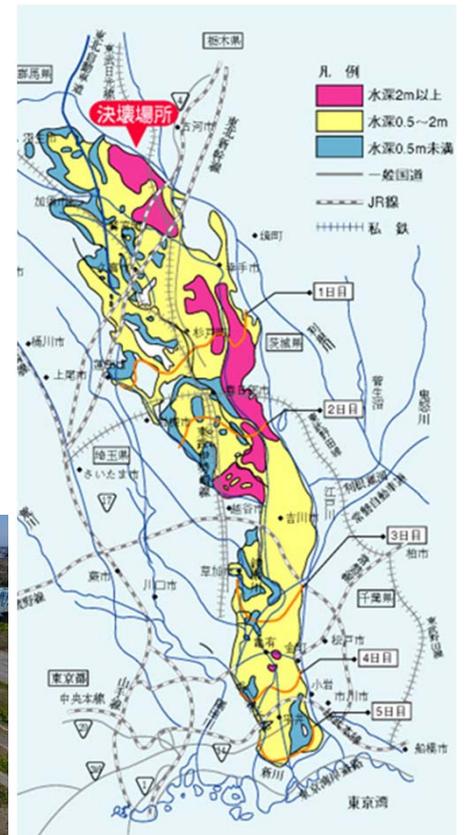
**2. 令和2年度の予定**

五霞町から羽生市までの用地取得が完了した箇所において、堤防の盛土工事や水路や道路の付け替え工事を実施するとともに、用地取得を継続していきます。

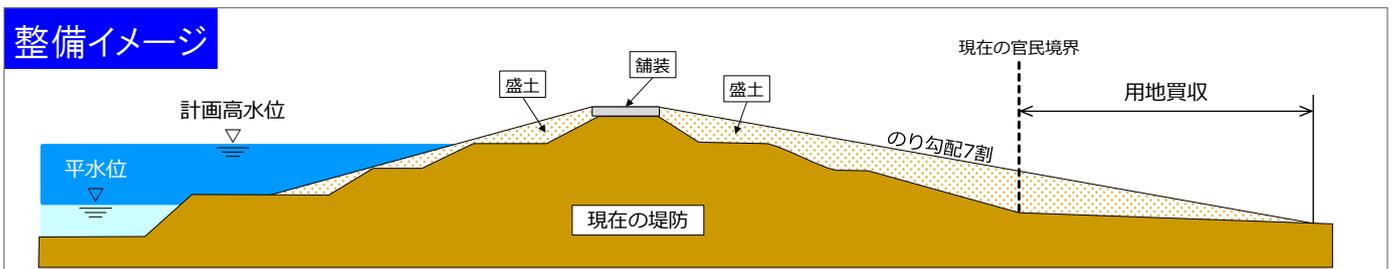
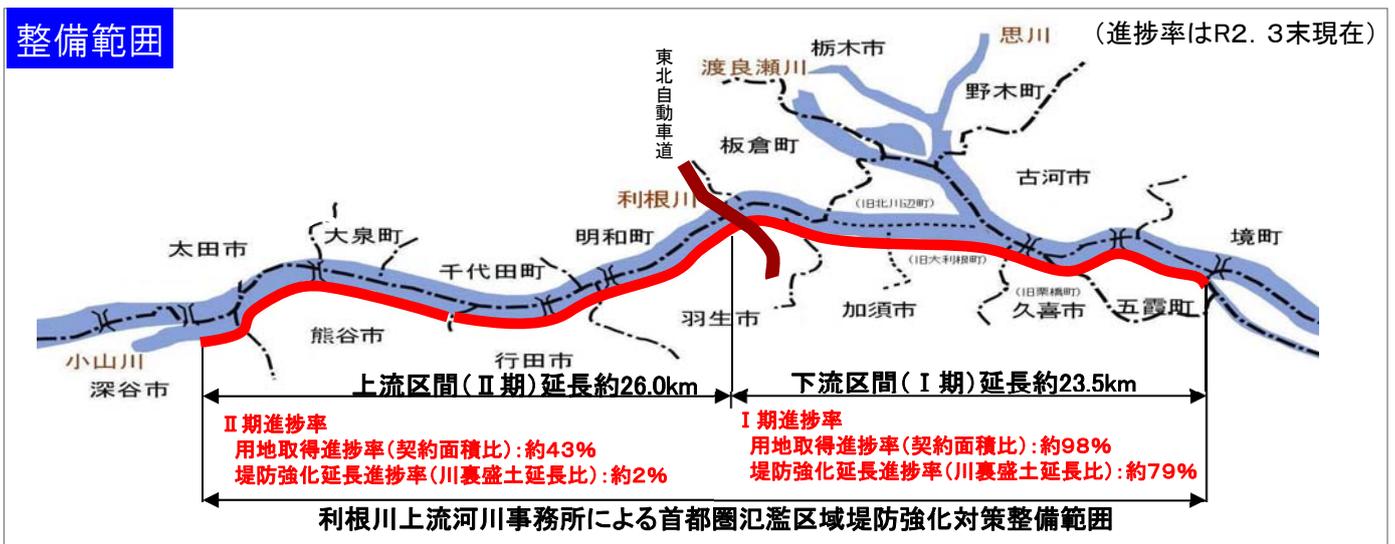
首都圏氾濫区域待望強化対策整備状況(埼玉県加須市旗井地崎)



いばらきけん 茨城県  
 こがまち 五霞町  
 さいたまけん 埼玉県  
 くまし 加須市  
 かぞし 久喜市  
 はにゅうし 羽生市  
 きょうだし 行田市



S22カスリーン台風時の洪水氾濫実績図



### 1. 事業の概要

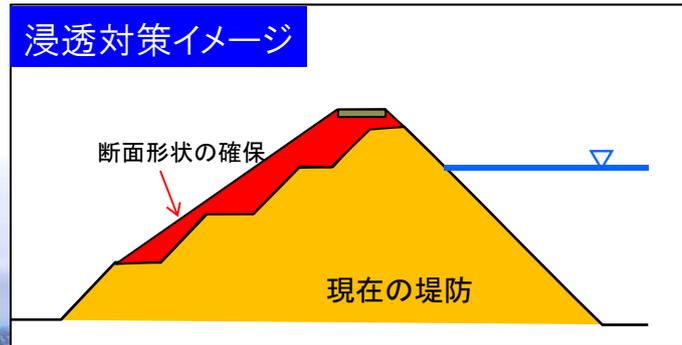
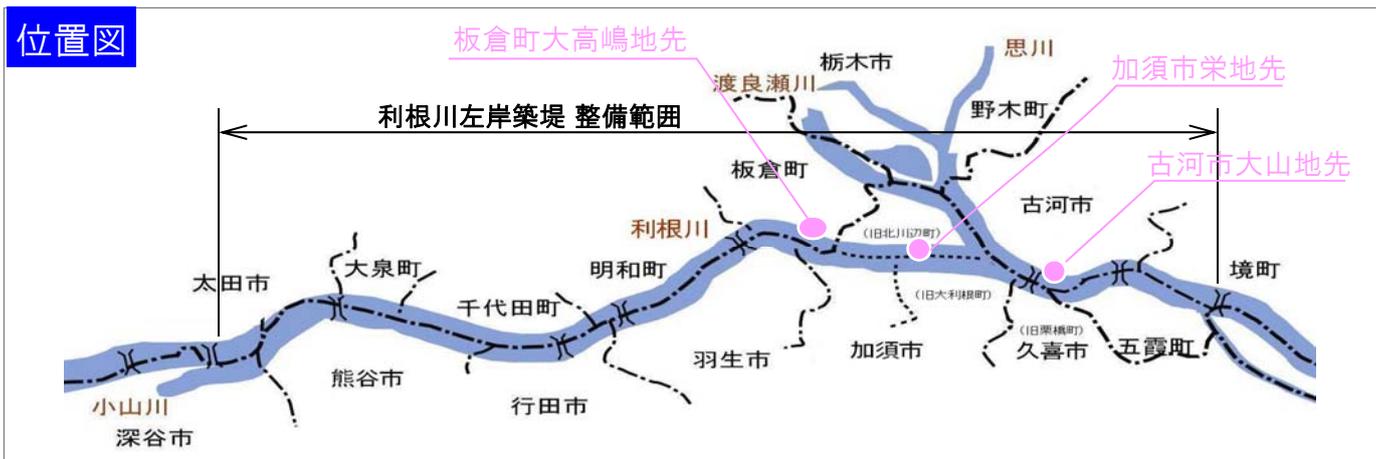
利根川上流部の左岸堤防において決壊が発生した場合、区間によっては湛水深が深く、多数の人命が危険にさらされるなど、地域への甚大な影響が想定されます。

このため、利根川と渡良瀬川が合流する加須市北川辺地区や古河市、板倉町や明和町の堤防の拡幅を行い、治水安全度の向上を図ります。

いばらきけん	こがし
茨城県	古河市
ぐんまけん	いたくらまち
群馬県	板倉町
さいたまけん	かぞし
埼玉県	加須市

### 2. 令和2年度の予定

令和2年度は、茨城県古河市大山地先、埼玉県加須市栄地先、群馬県板倉町大高嶋地先の堤防整備を行います。



堤防整備(左岸)実施状況



いばらきけん とりでし もりやし  
茨城県 取手市、守谷市

## 1. 事業の概要

稲戸井調節池は、茨城県取手市と守谷市に位置し、田中調節池及び菅生調節池と一体となって、洪水を調節池内に取り込み、利根川の水位を下げることで、下流域の治水安全度を高めます。

令和元年東日本台風の際は、3つの調節池の合計で、過去最大となる約9,000万 $m^3$ の洪水を貯留し、その洪水貯留効果を発揮しました。

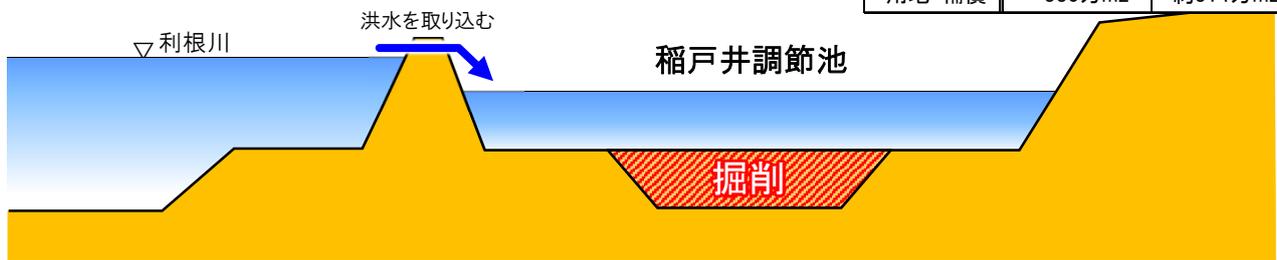
## 2. 令和2年度の予定

令和2年度は、引き続き周辺環境に配慮しつつ、洪水調節容量を増やすための掘削を実施します。

### 整備イメージ

#### 【主な工種の進捗状況】

主な工種	全体計画	R2.2末時点
池内掘削	800万 $m^3$	約225万 $m^3$
用地・補償	330万 $m^2$	約314万 $m^2$



令和元年東日本台風時の稲戸井調節池、田中調節池、菅生調節池  
(10月13日13時頃)



**1. 事業の概要**

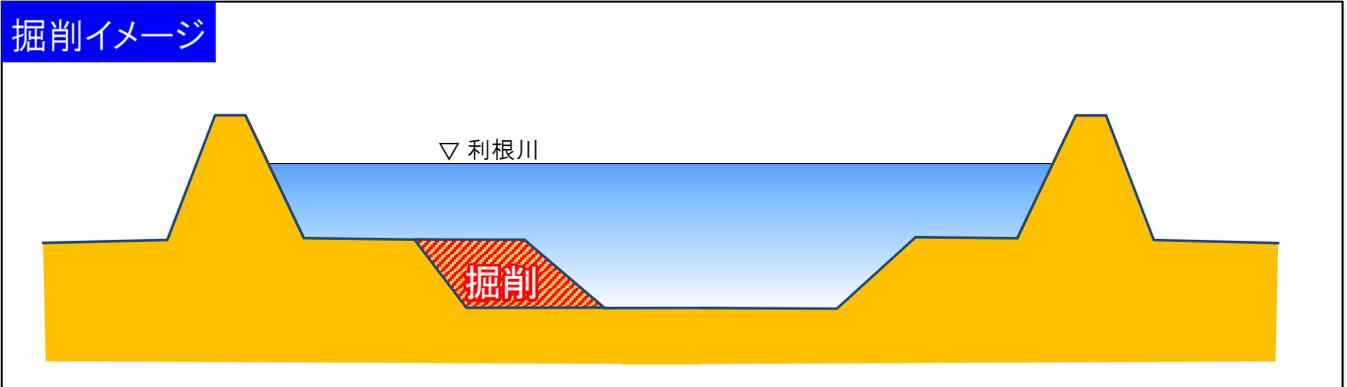
平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、洪水時や堤防決壊時の危険性に関する緊急対策を3カ年で集中的に実施し、早期に地域の安全性向上を図ります。

いばらきけん <b>茨城県</b>	こがし 古河市、	ばんどうし 坂東市、	ごかまち 五霞町、	さかいまち 境町
とちぎけん <b>栃木県</b>	のぎまち 野木町			
ぐんまけん <b>群馬県</b>	いせさきし 伊勢崎市、	いたくらまち 板倉町、	たまむらまち 玉村町、	めいわまち 明和町
さいたまけん <b>埼玉県</b>	かぞし 加須市、	くきし 久喜市、	はにゆうし 羽生市	
ちばけん <b>千葉県</b>	のだし 野田市			

**2. 令和2年度の予定**

最終年度となる令和2年度は、平成31年度に引き続き、河道掘削、樹木伐採等を実施します。

**掘削イメージ**



利根川本川における樹木伐採の状況



利根川本川における河道掘削の状況



東日本台風による洪水により、利根川本川や、支川の渡良瀬川、思川、南摩川、早川、永野川において、17箇所の護岸の損壊・河岸洗掘や、その他観測施設、渡良瀬貯水池内の施設の被害等が発生しました。これらの箇所について、速やかに復旧を図ります。

被災状況

護岸の損壊



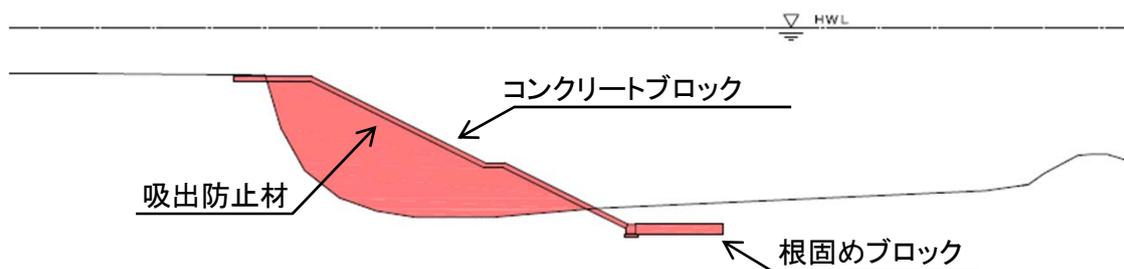
渡良瀬貯水池機場(除塵機・ベルトコンベア)



自動水質監視装置



復旧イメージ(護岸)



安心・安全な川づくりをめざし、川が本来持っている治水・利水・環境の機能を保つため、日々の河川管理施設等の維持管理を行っています。

### 堤防除草と維持補修

堤防除草により堤防の異常を把握しやすとした上で点検等を行い、発見した異常の維持・補修を行います。

#### 堤防の除草



#### 堤防の補修完了



堤防点検の様子



堤防の補修

堤防については、日常の河川巡視や出水期前・台風期・出水後の堤防点検等により異常の把握を行っています。

### 河川巡視及び状況把握

河川における利用状況・不法投棄などの違法行為や河川管理施設の異常を発見するため、河川巡視や災害時の状況把握を行います。



出水時の状況把握

### 機械設備、通信設備の点検・整備

出水時などに河川管理施設や通信設備が正常に作動するように、定期的な点検、補修を行います。



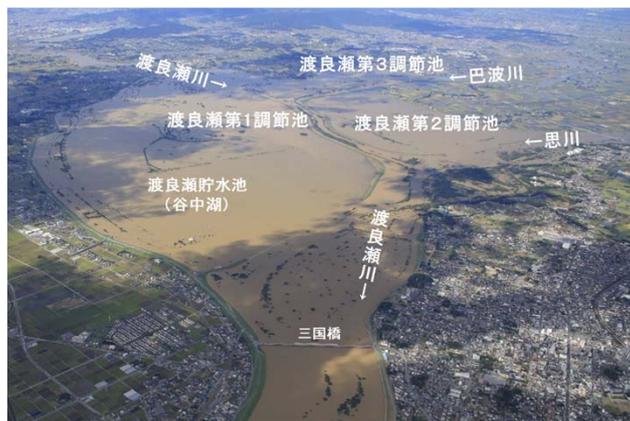
水門開閉機の点検状況

### 渡良瀬遊水地の運用・維持管理

渡良瀬遊水地は、支川の渡良瀬川、思川、巴波川の洪水流を貯留し、利根川の氾濫を防止するという治水上の重要な役割を果たしています。東日本台風においては、約1.6億 $m^3$ もの洪水を貯留し、その効果を発揮しました。

渡良瀬遊水地の中に設置された渡良瀬貯水池は、利水の機能(総貯水容量2,640万 $m^3$ )も備えており、首都圏の水がめとして、上流部の8ダム等と連携して効率的な水運用を実施しています。今年度は東京オリンピック・パラリンピック渇水対応行動計画に基づき、冬期に貯水池水位を下げる「干し上げ」を令和2年2月中旬に終了して通常より早期に貯水を開始しました。

これらの効果、機能を最大限に発揮するため、渡良瀬遊水地の維持管理及びきめ細やかな水運用を行います。

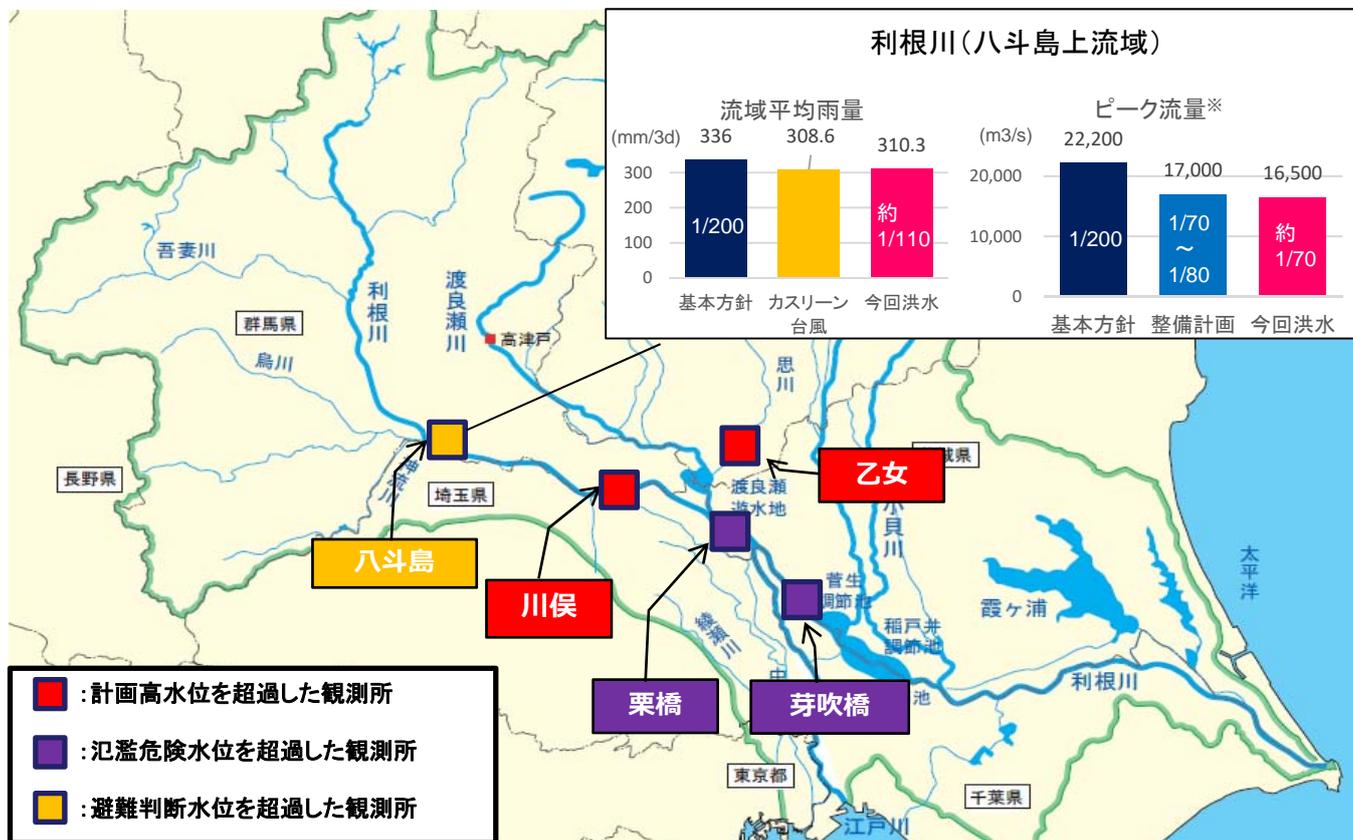


令和元年東日本台風時の渡良瀬遊水地  
(10月13日16時頃)

# < 参考 > 令和元年東日本台風の概要

別紙-7

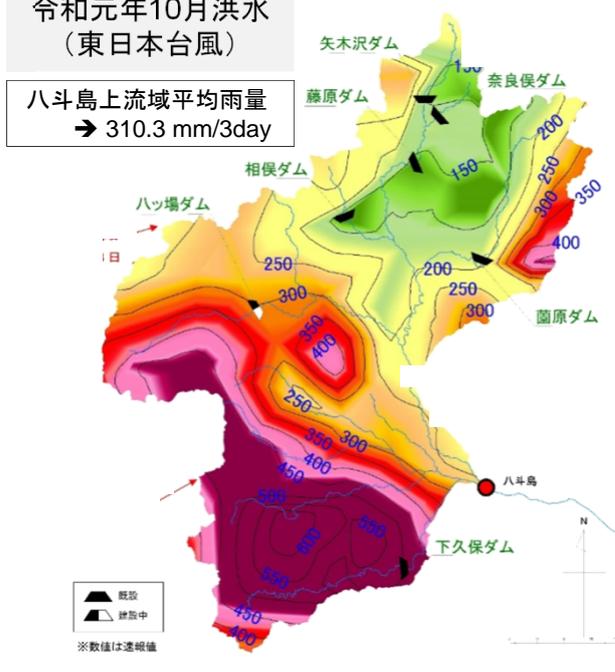
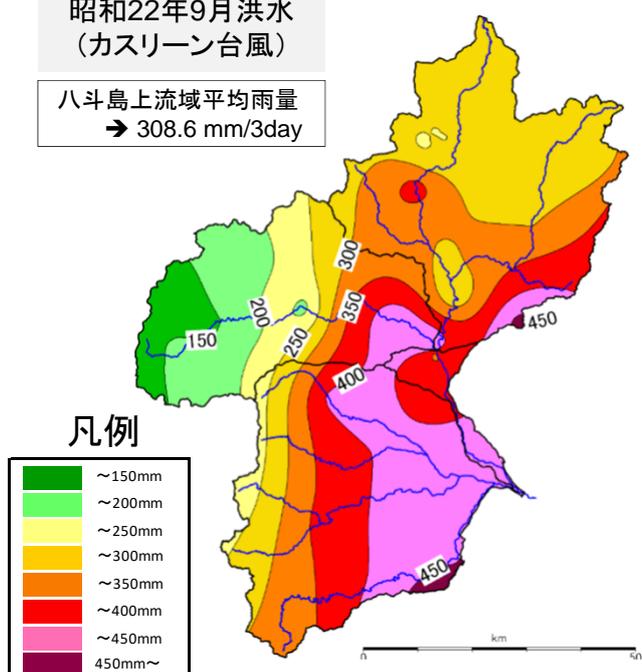
東日本台風による大雨で、利根川流域では支川の烏・神流川流域、吾妻川流域(南部)において降雨が集中し、応桑地点で474mm、下仁田地点で628mmの降雨となりました。3日間の八斗島上流域平均雨量がカスリーン台風に匹敵する大雨となり、当事務所管内でも本川や支川の思川で水位が計画高水位を超過する大規模な出水が生じました。



※洪水調節施設(ダムなど)が無い場合を仮定した計算値

昭和22年9月洪水  
(カスリーン台風)  
八斗島上流域平均雨量  
→ 308.6 mm/3day

令和元年10月洪水  
(東日本台風)  
八斗島上流域平均雨量  
→ 310.3 mm/3day



【令和2年1月17日 第2回 気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会 資料を一部加工して抜粋】